

世界健康安全保障 イニシアティブ(GHSI) の活動について

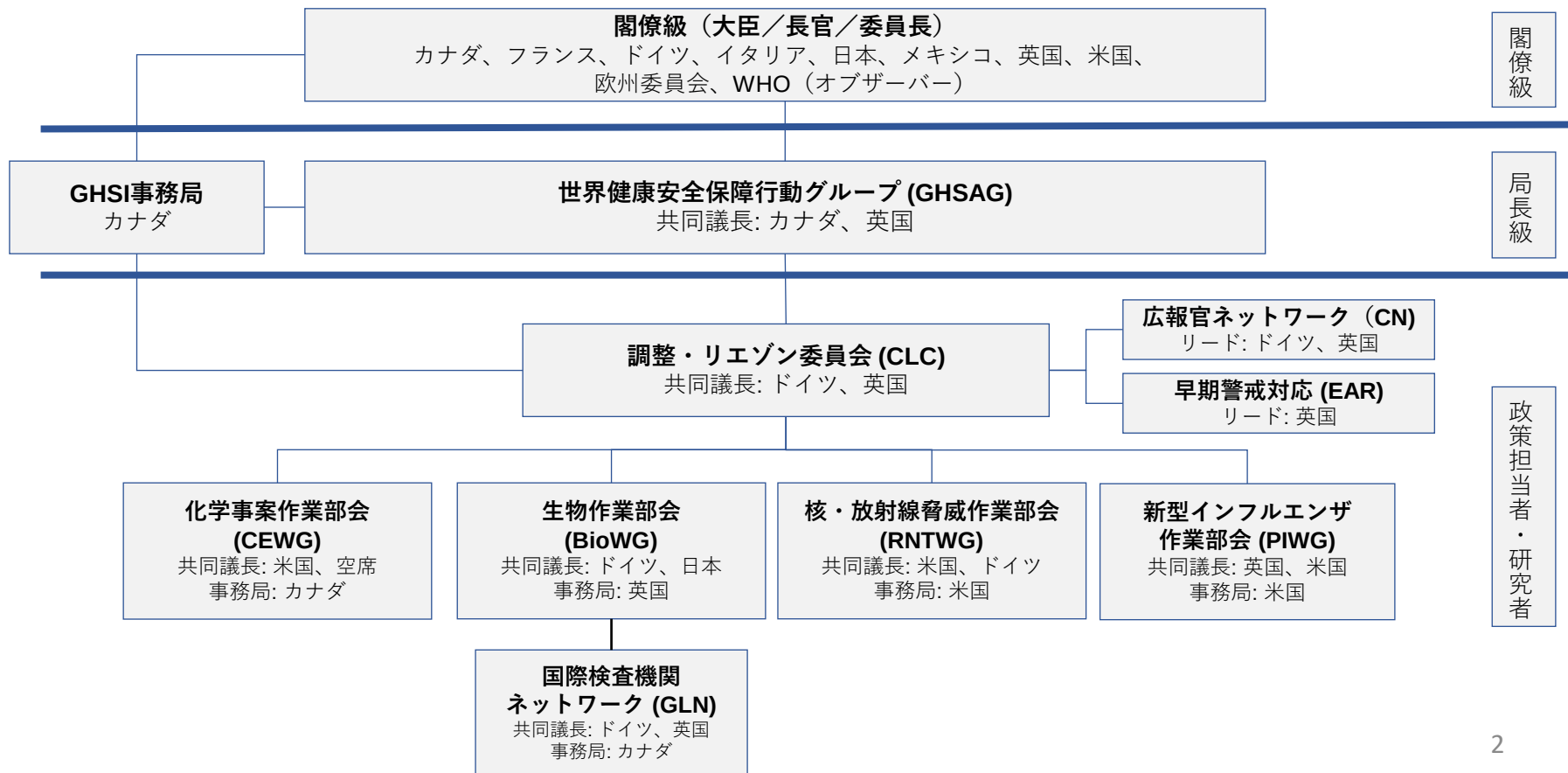
世界健康安全保障イニシアティブ(GHSI)について

1. 経緯

2001年（平成13年）9月11日の米国における同時多発テロを受け、米国・カナダ政府の呼びかけにより、世界的な健康危機管理の向上及びテロリズムに対する準備と対応に係る各国の連携等について話し合うことを目的に各国保健担当大臣会合として発足。

2. 構成

G7（カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国）、メキシコ、欧州委員会（EC）がメンバーであり、WHOはオブザーバーとして参加。



令和 6 年度のGHSIでの主な活動

- **GHSI 調整・リエゾン会合**

毎月 1 回オンライン会議、令和 6 年 9 月にドイツで対面会合開催。H5N1鳥インフルエンザウイルス、エムボックス、マールブルグ病等についての最新情報や大規模集会イベントでの学び、イベント管理対応フレームワーク中の急性緊急通信プロトコル訓練での反省を共有。またMCMへのアクセスについて、GHSI各国内での状況を共有しGHSIの活動方針を検討するとともに、各WGの活動報告等を実施。

- **GHSAG（局長級）会合**

四半期に 1 回オンライン会議、令和 6 年 9 月にドイツで対面会合開催。調整・リエゾン会合での議論を踏まえて、局長級会合でも議論を実施。

- **作業部会、ネットワーク等**

H5N1鳥インフルエンザやエムボックスの情報共有、ウクライナへの保健医療対応の情報共有を実施。また、国際シンポジウムに向けた検討やテロの脅威評価等を行った。

- **訓練**

イベント管理対応フレームワーク中の急性緊急通信プロトコル訓練を 4、11月に実施。